

# 第95回 食の安全「基本のお話」



## 食の不安情報 — 信頼できる情報の確かめ方

社会には科学的根拠に乏しい「食の不安情報」があふれています。



### 「危険」は目を引きます。

人間は、自分の身を守るために、危険を察知し、回避しようとする本能を持っています。そのため、「危険」という情報に非常に敏感に反応します。そこに「子どもに危険が及ぶ」と言われるとなおさらです。

その一方で、「安全」という情報は、身に危険をおよぼさないで、見落としがちになります。

### 危険の中身を調べてみましょう。

インターネットを検索すると、まず目を引くのは「危険」「食べてはいけない」というタイトルばかり…

① 気になったら、まずは行政の正式な発表を確認してみましょう。食品安全基本法(2003年)施行前には、行政からの情報発信にも不十分な点がありましたが、今は改善され、信頼できる情報源の一つです。

食品のリスク評価を行う食品安全委員会や、リスクを管理する厚生労働省、消費者庁のホームページなど、複数のサイトを調べてみましょう。

今は、食の安全に関するリスクコミュニケーションが、国際機関や各国のリスク管理機関で行われています。私たち消費者も各国の情報を比較できる時代になっています。

② メディアや企業の視聴率アップや商売目的の不確かな情報を監視している団体のサイトも参考になります。



食品安全委員会ホームページ



消費者庁ホームページ

### あなたの「調べる」をお手伝いするサイト

いずみ市民生協ホームページ →  
食の安全のとりくみ → 食の安全Q&A →  
関連リンク集

食の安全にかかわる行政や科学的な情報発信を目的とした諸団体のサイトへのリンク集です。

食の安全Q&Aは  
コチラから



食の安全のとりくみのコーナーには、食品安全プログラムにもとづく食品の安全確保の取り組みの紹介と合わせて、食のリスクに対する基本的な情報を提供する「Q&A」のページも設けています。

### このような情報は要注意!

- ① 「猛毒」「これさえ食べれば大丈夫」など単純・極端な情報
- ② 摂取する「量」に触れられていない情報
- ③ 「〇〇は危険」と不安をあおり「使っていないこちらをどうぞ」という宣伝
- ④ 「自然、天然だから安全」というイメージをもとにした情報
- ⑤ 情報の発信元や根拠が不明な情報

